

重要事項説明

1. 当検査について

当検査は予め本説明書をお読みいただき、その内容に基づいて医学的な診断を行うものではないことをご理解、同意の上で実施いただく検査となります。診断を目的とした用途や判断において当検査を取扱った際の一切のトラブル、事故、クレーム等においては、当社および関連会社の責によらないことを予めご理解ください。

2. 検査の目的

ピロリ菌に感染すると免疫反応により、体の中にピロリ菌に対して選択的に反応する抗体がつけられます。この抗体の一部は尿中に排出されるため、痛みを伴わずに採取できる尿を利用して、このピロリ菌に対する抗体の有無を検査し、ピロリ菌に感染している可能性について確認します。また、胃がんのリスクを高めるといわれている生活習慣関連因子についてもあわせて確認しています。これらの指標を今後の健康対策に活かすことが当検査の目的であり、医学的な診断を行うことを目的としていません。

3. 当検査の限界

当検査では、泌尿器系の疾患、感染症の罹患、血尿などを伴うその他の症状のある方では、正しい測定結果とならない場合があります。また、何らかの症状の確定診断に用いることのできる指標は含まれておりません。また、生体由来成分とは異なる異物に該当するものが混入していた場合、外部要因による尿検体の変性等が生じた場合にも、正しい結果が得られない場合があります。

4. 個人情報の取り扱い

当社では、当検査を実施する過程で取得した氏名、生年月日、性別、所属機関、住所、連絡先、検査結果等について、個人情報の保護に関する法律を遵守した上で、以下の目的のために利用する場合があります。

- ・精度向上、作業工程改善等を目的とした測定業務
- ・改善検査手法確立等を目的とした測定業務
- ・精度管理業務等における保管資料作成
- ・当検査を利用する会員サービス機能との共有
- ・必要時の提携医療機関への共有

5. 関連書類、検体および解析データの取り扱い

当検査の解析データは、個人を一切特定できないように連結不可能な匿名化を施した後、当社および提携機関において、一定期間保管される場合があります。また、提出いただいた検体は今後のサービス向上のため、匿名化遵守のもとにおいて、他の指標等による検証、追加解析等に利用される場合があります。これらの解析結果は、個人が特定されない場合において、国内外の学会あるいは論文等により発表される場合があります。

6. 当検査に影響をおよぼす要因

当検査では、ピロリ菌に類似した抗原性を示す物質に曝露していた場合にも、ピロリ菌感染時と類似した免疫反応性を示す場合があります。また、ピロリ菌除菌治療後しばらくは残存する抗体の一部を検出し、リスク（+）となる場合があります。生活習慣に関連する指標では、検体採取前日または当日の健康状態により、影響が出る場合があります。それ以外にも、尿への血液の混入（泌尿器系疾患による血尿や女性の生理期間中の採尿による経血の混入など）により、結果に影響する場合があります。採取方法、検体保管を手順書と異なる方法で行われた場合にも、正しい評価結果を得られない場合があります。

7. 免責事項

本検査はピロリ菌感染、胃腸症状、胃がん、その他の症状に関する診断・確定ができる検査ではありません。